

## ジャーナル第 25 号投稿論文募集のご案内

『異文化コミュニケーション』第 25 号の投稿原稿を募集いたします。完成論文の投稿締め切りは **2022 年 1 月 15 日 (土) 必着**です。応募にあたっては、次の点にご留意いただき、ふるってご応募願います。

### 留意点

1. 異文化コミュニケーション学会ジャーナル編集委員会では、どのような種類であっても過去に発表された原稿や他所で投稿中の原稿は、オリジナル原稿としては認めかねますのでご留意願います。
2. 本誌に投稿できる方は、異文化コミュニケーション学会 (SIETAR Japan) 会員です。投稿時までには会員資格を有している必要があります。なお、共同執筆者がいる場合は、少なくとも筆頭著者のみが、本学会の会員である必要があります。共同執筆者は、会員でなくても会員である筆頭著者とともに投稿できます。
3. 投稿論文の種類は、研究論文、研究ノート、調査/実践報告、の 3 種類で、執筆者のオリジナルであり、かつ、未発表のものに限ります。なお、3 種類の区分は以下の通りです。
  - 1) 論文 20000 字  
論文としては、学会の趣旨に合致する限り、人文・社会科学に関する広範囲の分野における実証的研究、理論研究、方法論研究等が該当する。論文の要件としては、先行研究、研究方法、結果、考察が含まれていなければならない。ただし、研究方法としては、論題に適していれば幅広く受け付ける。
  - 2) 研究ノート 12000 字  
研究ノートは、論文より萌芽的なものと定義するもので字数も論文より少ない。しかし、論文同様に先行研究、研究方法、結果、考察の要件を満たす必要がある。
  - 3) 調査/実践報告 12000 字  
調査/実践報告には、新規性や創造性に富んだ教授法または研修教材の紹介を含む。読者が再現できるよう詳細な記述が求められる。さらに、論文よりは簡略でよいが先行研究および教授法や教材の評価を含めることが求められる。
4. 投稿論文の言語は、日本語または英語です。
5. 本文が和文・英文にかかわらず、要旨(Abstract)は、和文 (700 字以内) と英文(350 語以内)で記してご提出ください。
6. 投稿の際には、必ず「チェックリスト」で各自チェックして、その「チェックリスト」も添付でお送りください。
7. 論文で使用する言語が、第一言語でない場合は、必ず投稿前にネイティブチェックを受けてください。
8. 原稿の書式は、「投稿規程」「執筆要綱」を熟読し、学会ウェブ上 (<http://www.sietar-japan.org/>) の「テンプレート」「表題ページ」「要旨ページ」の原則に従ってください。

